



受賞作品発表

松尾芭蕉や正岡子規など多くの俳句を詠み、区内各地に句碑が建立されている俳句ゆかりの地である荒川区は、「俳句のまちあらかわ」として、俳句文化の裾野を広げる活動に取り組んでいます。今回、この取り組みの一環として、「俳句」と「写真」を組み合わせた「俳句のまちあらかわフォト俳句コンテスト」期間／令和6年10月1日～令和7年1月10日を実施し、区内外から合わせて958句の素晴らしい作品が集まりました。ここでは、一般の部・こどもの部、課題写真の部（課題写真に対して俳句のみを募集）の受賞作品を発表します。

選者紹介



対馬 康子氏
俳人
現代俳句協会副会長
荒川区国際交流協会理事長



堀田 季何氏
俳人
現代俳句協会常務理事
「楽園」主宰



佐々木 忠利氏
俳人
荒川区俳句連盟会長
荒川区文化総合講座俳句講師

こどもの部

入選 | 対馬 康子選

黄葉の木のうろ住まういのちの子
荒川区立第四峡田小学校三年 吉田菜由



冬麗町屋出発どこへでも

荒川区立第七峡田小学校四年 アイ



入選 | 堀田 季何選

はじめてをたくさんくれた尾久の原
荒川区立第七峡田小学校三年 磯村章太



すみだ川この美しさ町屋だけ

荒川区立第七峡田小学校三年 長井龍且



入選 | 佐々木 忠利選

十字路の白光の灯寒々と
荒川区立第七峡田小学校四年 岸菜那



右左みこしをふってやくばらい

荒川区立第七峡田小学校三年 高野優士



公園の遊び道具も寒そうだ

荒川区立第七峡田小学校四年 木下結翔



初詣お参りよりも鯉見たい

荒川区立瑞光小学校五年 中村好汰



地下鉄のホームでジュース飲む新年

荒川区立第七峡田小学校四年 芝野孝志朗



見わたすと魚飛び出すすみだ川

荒川区立第七峡田小学校四年 Y・K



むしたちが春をまってるおぐのはら

荒川区立第七峡田小学校三年 荒原有吾



川の水ゆっり流れるお正月

荒川区立第七峡田小学校三年 喜瀬梨々美



入選 | 対馬 康子選

足音の遠ざかりゆく落葉道
大島章吾



惜春や旅立つしろ影ふたつ

河野三男



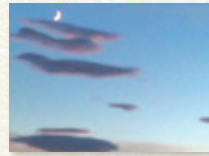
入選 | 堀田 季何選

玉のやうな冬日と溜る時間かな
石田道彦



乗り継ぎはチンチン電車神の旅

茂木尚美



入選 | 佐々木 忠利選

一瓢も一茶も愛でる三五の月
斉藤寿美子



身じろがぬことも勇気が空つ風

加那屋こあ



一般の部

特選 | 対馬 康子選

春を待つ散歩寄り道あそびましょ

櫻井祥香

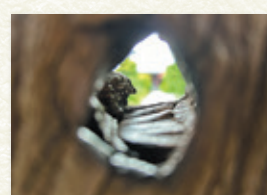


【選評】女の子の動物の帽子がこちらを向いているのが絶妙の一枚です。子どもたちの「あそびましょ」の声が聞こえるよう。「寄り道」という言葉に、ゆったりとした明るい日常があります。きっと楽しい春が訪れるでしょう。

特選 | 堀田 季何選

弾痕から覗く本堂蟬時雨

森川雅美



【選評】上野戦争での弾痕が山門に残る。作者は、この弾痕を通じた独自のアングルから密かな美を見出した。ロケは「美はあらゆるところに」と言うが、これは戦争の残酷と歴史の蓄積を感じさせる美だ。蟬時雨があわれ。

特選 | 佐々木 忠利選

鉄塔の幾何学模様冬の空

高仲絹



【選評】凍りついたように寒々とした冬空を背景とした鉄塔の幾何学的な形状を描写している。冷たく澄んだ冬空と鉄塔の直線が対比され、静寂と力強さを感じられる。視覚的な美しさと冷たい季節の情景が伝わってくる。

課題写真の部 入選

課題写真①

松尾芭蕉像



元禄2年(1689年)、松尾芭蕉は千住から奥州へと旅立ちました。「奥の細道矢立初めの地」のシンボルとして、南千住西口駅前広場に、松尾芭蕉像を設置しています。

しゃがむ子の膝の高さに草の花
芭蕉像きのふの時雨乾きけり
翁仰ぐ虚空の果ての桜かな
俳人は行く春を追ふ雲を追ふ
芭蕉像のふくらはぎから冬に入る

亀田かつおぶし
三田忠彦
紫水
ひでやん
秋野茜

課題写真②

あらかわ遊園



都内唯一の公営遊園地である「あらかわ遊園」には、ウサギやヒツジとのふれあい体験が楽しめるどろぼう広場があります。

山羊の子のしきりに春を噛みたがる
未来とは過去のつべん日脚伸ば
遠足のけふはクラスの一員に
もぐもぐは平和のしるし春惜しむ
春は方舟ひらひらと山羊睡りゆく

二重格子
玉木たまね
村山恭子
山崎すいか

課題写真③

下御隠殿橋(トレインミュージアム)



雷雲を載せて貨物の鉄軌む
行き交うは電車より手よ北風よ
展望の列車雪女の手形
黙想へ東風やトレインミュージアム
おつかれと鉄路暖め初日影

平山曉生
田中正博
千振
村山恭子
山本半片

課題写真④

隅田川



隅田川は、荒川区の北東部を迂回して流れており、水辺は地域の人々の憩いの場になっています。また、隅田川には、松尾芭蕉が渡った千住大橋が架かっています。

麗かや童話で歌う隅田川
未来へとつなぐ花火や隅田川
俳聖の面影たどる春の川
冬の朝我がが誇る隅田川
川を曲げ夏の太蛇海を飲む

野中泰風
斉藤寿美子
岡崎みのる
荒川区立第七峡田小学校四年 吉井海翔
晩鳥